

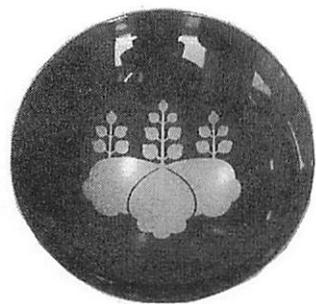
表彰状

大分県地方史研究会殿

あなたは永年にわたり地域文化の
振興に尽力し顕著な功績を
挙げられましたここにその功を
たたえ表彰します

平成八年十一月十九日

文部大臣 小杉



表彰状と記念杯

文化庁の地域文化功労者表彰に当って

大分県地方史研究会

会長 渡 辺 澄 夫

本会は去る十一月十九日、地域文化功労者として、文部大臣表彰を受けました。その理由は、「設立以来、地方史の調査研究・普及に努めるとともに、会誌の発行・研究会・講習会等を通して文化財の保護に貢献」した、というのであります。洵に光栄の至りであり、御同慶に堪えません。

この度の受賞の功労者総数は九十一名(内訳個人七十三名、団体十八団体)で、東京都一ツ橋の如水会館で表彰式が挙行され、小泊立矢参事に代って御出席をお願い致しました。

願れば昭和二十九年本会発足後四十二年間、平素は部会に分かれて毎月研究発表会を開き、総会には公開講演会を催し、その成果に会誌『大分県地方史』百六十三号を刊行するまでに到りました。こうした微力の蓄積が、この度の光栄に浴する結果となったものと信じます。

しかしここに至るまでには、県教育委員会文化課から、絶えざる支援と協力を与えられたことを忘れてはなりません。尚又この度の表彰に当っては、平松県知事より懇篤なる祝電を頂きましたことを報告申し上げます。

さて本会といたしましたは、これを契機に一層決意を新たに、会活動を活性化し、地域文化の振興と文化財保護に貢献する覚悟が必要であります。いよいよ責任の重大さを痛感いたします。以上簡略ながら経緯を報告申し上げます、受賞を慶賀すると共に、今後の決意の一端を披瀝させて頂いた次第であります。